

えいじんクリニック

—生活を保ちつつ透析治療を続けるために—

えいじんクリニックは、2004年（平成16年）に開設された、外来透析治療を専門とし、患者さまがより安全で安心な透析治療を受けることができるクリニックです。

えいじんクリニックでは、透析ベッド48床を完備しており、

隣接するくらすた病院内の人工透析センターとも連携し、

高度な技術を有する専門スタッフのもとで人工透析治療に当たっています。

透析は、一般に1回4～5時間かつ週3回受ける必要があるため、えいじんクリニックでは、患者さまのご都合に沿ってスケジュールを組み、さまざまなご相談にもお応えしています。

また、通院が困難な方には、無料の送迎サービス（車イス用の福祉車両も用意）も行っています。

えいじんクリニックでは、透析を受けられる患者さまが自分らしく暮らすことを大切にしています。

たとえば、旅行や出張、帰省先などでも患者さまが透析を受けられるように、

他地域の透析施設と連絡・手配をしています。

また、神奈川県に來られた患者さまに対しても、臨時透析をお受けしています。

■ 最新の透析治療設備を導入 — 外来透析について

■ 患者さまを第一とする透析治療

えいじんクリニックは透析ベッド48床を完備しています。うち1床は、感染症を予防する隔離透析室となっています。

設備では、オンラインHDFを中心とした最新の医療機器を導入し、水処理装置・透析液供給装置・患者監視装置などを完備、多人数用透析装置・個人用透析装置などをそろえて、さまざまな血液浄化療法を実施しています。

透析にあたっては、定期的にベッドサイドでシャントエコーを行ってシャント（透析のために動脈と静脈をあわせてつくった血管）異常の早期発見に努めています。さらに月一回のフットチェックを行い、下肢の血流低下や傷などができていないかなど、異常の早期発見にも配慮しています。

また、長時間にわたる透析を快適に過ごしていただけるよう、無料のテレビを設置しており、ご希望により弁当（治療食）も用意しています。

えいじんクリニックの理念

- 患者さまを中心に最適な医療を安全に提供し、安心して通えるクリニックをめざします。
- 自分たちの仕事に責任と誇りを持ち、自己研鑽と育成に努めます。
- クリニックの発展と健全な運営に努めます。

【行動指針】

- 事故防止、感染予防について、患者さまと医療従事者の安全、安心の向上に努めます。
- 患者さまに対し、笑顔で親切にやさしく接します。
- 患者さまの満足と納得を得られるよう、分かりやすく丁寧に説明します。
- 快適な環境づくりに努めます。
- 新たな知識と技術を習得し、医療の質の向上に努めます。
- 全職員の自由な討論と参加を通じて進歩するクリニックにします。
- 規律を守り、公私を明らかにし、責任を果たします。
- 透析専門クリニックとして、透析患者さまの受け入れに柔軟に対応し、地域医療に貢献します。
- 健全なクリニック経営を図ります。

■ 透析までの流れ

えいじんクリニックでは、初めての患者さまに対し、親身になってご相談をお受けするとともに、院内見学を実施しています。透析治療にあたっては、患者さまと医師による面談とオリエンテーションを行って最善の方法を決め、患者さまのご希望に沿ってスケジュール調整を行ったうえで透析を実施しています。

1. 院内の見学

施設をご案内し、当院の設備や治療内容などについて分かりやすくご説明します。

2. 面談とオリエンテーション

医師との面談では、診療情報提供書を持参いただけます。面談により透析治療が決まった場合は、オリエンテーションにて必要な物、透析開始日、ベッド・施設などについてご案内します。

3. 治療スケジュール調整

仕事など患者さまのご都合を踏まえて、透析治療のスケジュールと一緒に考えていきます。通院が困難な方への送迎サービスも行っています。

■ 当院の透析治療の特色

■ より安心・安全なオンラインHDF、リクセル®

えいじんクリニックは、オンラインHDF治療を積極的に行っています。HDFとはHemodiafiltration（血液透析濾過）の略で、血液透析（HD）と血液濾過（HF）の利点をあわせた治療方法です。透析を行いながら濾過も行い、濾過した量と同じ量を補充液として注入します。

オンラインHDFは補充液に超純度に清浄化された透析液を使用するシステムで、これにより大量の濾過を行うことができ、さまざまな尿毒症物質を取り除くことができます。オンラインHDFには皮膚

掻痒症（かゆみ）、骨・関節痛、レストレスレッグス症候群（下肢のむずむず）の改善、透析アミロイドーシス（透析によって産生されたアミロイドと呼ばれる異常タンパクが蓄積して臓器障害を起こす疾患）の予防などの臨床効果が報告されています。

また、透析アミロイドーシスを合併した患者さまには、原因物質を取り除く吸着カラム（リクセル®）を併用した治療も行っています。



ロビー



透析室

■ 合併症を予防するフットケア

透析患者さまは、糖尿病などが原因で動脈が硬くなったり（動脈硬化）、血管にカルシウムが付着したり（動脈石灰化）することにより、足の血流が悪くなりやすいといわれています。血流の悪い状態で傷ができると深い潰瘍になりやすく、患者さまは免疫力が低下していることもあって潰瘍に細菌が入った場合に感染を起こしやすいといわれています。

当院では定期的なフットケアを行い、異常の予防および早期発見に努めています。



受付



外来患者さま用ロッカー



休憩室



透析室

■ 透析中のトラブルを防ぐシャントエコー

血液透析治療に必要なシャントは、時間が経つにつれて合併症が起こることがあり、透析中にトラブルが生じることもあります。これらの原因を調べるのに、超音波診断装置（エコー）を使ったシャントエコー検査が有効です。

当院では、熟練したスタッフにより定期的にシャントエコーを行い、シャントトラブルの早期発見に努めています。

■ 外来感染の防止対策

当院では、外来感染対策向上加算の届出を行っております。これに基づき、感染マニュアルなどの作成や発熱時の診察・検査の実施、連携施設との定期的なカンファレンスの実施、感染症発生時の訓練の実施などを行っています。さらに、患者さまの感染防止対策に力を入れ、安心して通院透析が受けられるように環境を整えています。

患者さまが自分らしく過ごせるために

私は、東海大学医学部を卒業後、横浜市立大学附属病院腎臓高血圧内科にて透析医療の研鑽を積み、2022年4月より、えいじんクリニックの院長に就きました。

透析治療は、医師、看護師、臨床工学士などがチームを作って行う究極のサービスです。それゆえ、私たちは、えいじんクリニックの「理念・行動指針」を定め、患者さまが自分らしく過ごせるように、チーム力を高めて最適な治療の提供に心がけています。それとともに、私たちは、日本透析医学会認定医、血液浄化専門臨床工学技士、透析技術認定士、慢性腎臓病療養指導看護師などの資格取得をはじめ、最新治療に向けて自己研鑽に努めています。

一口に患者さまといっても、透析を受けながら仕事を続けておられる元気な方、高齢で重い疾患を抱えておられる方などさまざまです。私たちは、患者さま一人ひとりの病態や生活事情などを踏まえ、倉田会の関連施設とも密接に連携して、基礎疾患の治療、日常の体調管理のケア、足腰の衰えた方へのリハビリテーションなど幅広いサポートを行っています。

私たちは、これからもチーム力を高め、一人ひとりの患者さまに寄り添って、より良い治療を行うために精進してまいります。



佐藤 陽
医療法人財団 倉田会
えいじんクリニック 院長